



ぶっく・とーく

どなたでも歓迎！お気軽にご参加ください。

今回の本 『毎日がアルツハイマー』

(パド・ウィメンズ・オフィス 2012年7月)



お 話・^{せきぐち}関口 ^{ゆか}祐加さん (映画監督)

聞き手・^{まつもと ゆみこ}松本侑壬子さん (ジャーナリスト)

〈著者〉 関口 祐加 さんのメッセージ

普通は肉親がアルツハイマーであることを隠したいじゃないですか。でも、私は、母が被写体として面白いと思ったし、アルツハイマーの母を魅力的だなんて思ったんです。テーマで撮るより、人間を撮りたい。

アルツハイマーで正直になって、世間体を気にしなくなった母が、スゴイと思って。「毎アル」は、介護をオープンにしよう！というのがメッセージです。母を撮っているうちに抱腹絶倒しつつ、やっぱりせつないなあ、と。介護と認知症、あと母娘&家族のこと、いろいろお話ししたいですね。

2013年 3月5日 (火) 18:30~20:00

〈受付開始 18:00~〉

会 場：日本女子会館 5階 スペース We learn

参加費：500円 (お茶&お菓子付)

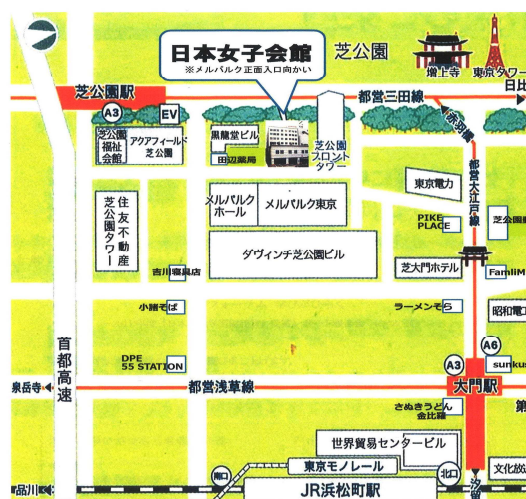
定 員：20名 (先着順, 当日参加もOK)

申込方法：TEL 03-3434-7575

FAX 03-3434-8082

本財団 HP からもお申し込いただけます。

※申込書は裏面



● JR浜松町駅北口・徒歩8分
● 大門駅A3出口・徒歩5分
● 芝公園駅A3出口・徒歩3分

◆お問合せ先◆ 公益財団法人 日本女性学習財団 学習事業課

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館

TEL/03-3434-7575, FAX/03-3434-8082

E-mail : jawe@nifty.com URL : http://www.jawe2011.jp

最寄駅：JR 浜松町、都営浅草線/都営大江戸線 大門、都営三田線 芝公園

《PROFILE》

関口 祐加さん (せきぐち ゆか) 映画監督

1957年横浜生まれ。大学卒業後、オーストラリアに渡り天職である映画監督に。1989年『戦場の女たち』で監督デビュー。ニューギニア戦線を女性の視点から描いたこの作品は、世界中の映画祭で上映され、数々の賞を受賞した。その後、アン・リー監督(『ブローックバック・マウンテン』他)にコメディのセンスを絶賛され、コメディを意識した作品を目指すようになる。2009年、自身の奮闘を描いた『THE ダイエット!』(英題:『FAT CHANCE』)が日本で劇場公開。また、2009年9月より認知症の疑いのある母親を被写体に自ら撮影を開始。2010年1月帰国し、母と取り巻く人たちを撮った新作『毎日がアルツハイマー』は、映画だけでなく、本として出版した。現在は、横浜で母親と二人暮らしをしている生粋の浜っ子育ちである。

シネマテーク動画教室講師(2011年7月～)、津田塾大学非常勤講師(2012年4月～)。

松本侑壬子さん (まつもと ゆみこ) ジャーナリスト

映画評論家。共同通信記者だった頃より、ドキュメンタリーや映画、女性監督を中心に執筆活動をしている。十文字学園女子大学社会情報学部教授(2000～09年)。「日本映画ペンクラブ」「日本ペンクラブ」「日本記者クラブ」に所属。月刊誌『婦人之友』『女性情報』『We learn』などに女性の視点で観る映画評を長期連載中。著書に『母娘の風景』『シネマ女性学』『映画をつくった女たち～女性監督の100年～』など。

「スペース We learn」オープン!



日本女子会館5階に男女共同参画推進のための学習スペースを開室しました。資料の閲覧やミーティングにどなたでもご利用になれます。

開室 月曜～金曜 10:00～16:00(要予約) ※休室: 土日・祝日・年末年始
利用料 300円/1回 (月刊「We learn」購読者様半額)
問合せ TEL 03-3434-7575 <http://www.jawe2011.jp> (詳細はこちら)

←窓外は東京タワーと芝公園の樹木で落ち着いた雰囲気です。

【ぶっく・とーく申込書】

⇒FAX: 03-3434-8082

氏名	ふりがな		
住所	〒 _____		
電話・FAX 屋間のご連絡先	Eメール	_____@_____	
所属等	財団では、催し等の情報を提供しています。 ご不要の場合は、右の口に✓をお願いします。 <input type="checkbox"/>		

★財団HPからもお申込いただけます。個人情報とは当該事業の業務以外には使用しません。